

## 津奈木保育園児 あけぼの苑を慰問



↑可愛くも勇ましい園児の勇姿

2月24日、津奈木保育園児があけぼの苑を訪れ、お年寄りとの交流会を行いました。これは、少子高齢化や核家族化の進行でお年寄りとふれあう場が減少している中、世代間を越えてもっとふれあいの場を広げようと毎年実施されているものです。園児たちは出し物に合わせた様々な衣装に身を包み、元気いっぱいに歌やお遊戯を披露。可愛らしい園児の様子に会場に集まったお年寄りは笑顔で惜しみない拍手を送っていました。なお、3月3日には津奈木保育園児がプレゼントの贈呈を行いました。

## 生涯学習フェスティバル2011 開催

3月6日、つなぎ文化センターで平成22年度生涯学習フェスティバルが開かれました。これは町民講座や自主活動の発表の場として毎年行っているものです。同センターロビーの展示部門にはパッチワークや陶芸など各教室の自作が並び、ホールでは発表部門が行われ、琴友会による大正琴の演奏、コールつなぎのコーラス、津奈木中の発表や健康太極拳教室の太極拳、平国六方踊り保存会の六方踊りなど、日頃の活動や学習の成果が披露され会場からは大きな拍手と歓声が沸き起こっていました。



↑今年から始まった「トランペット教室」の演奏

## 元気が1番！ たっしゅか塾開所！

3月1日、平国コミュニティセンターで離島等医療・福祉推進モデル事業「津奈木たっしゅか塾」の開所式が行われました。この事業は、水俣病発生地域の高齢者の方の健康増進や介護予防等の福祉対策等を目的に行うものです。式典で、西川町長が「病氣しないのが一番。たっしゅかくなって長生きしてください。」と挨拶。施設名称公募決定者表彰では平国小2年の福山優花さんに賞状と記念品が贈られました。式典後、参加者は実際にトレーニング器具などを体験していました。



↑楽しそうにトレーニング器具を体験する参加者

## 国際交流プログラム in 津奈木

3月4日から6日までの3日間、早稲田大学の留学生2人が町を訪れました。これは、留学生に日本の地域の暮らしや文化を体験してもらうと早稲田大学が実施しているもので、本町での受け入れは今年で12回目になります。今年は中国とアメリカからの留学生が町を訪れ、初日は彫刻めぐりや四季彩見学などを実施。2日目と3日目は、亀萬酒造や美術館の見学、重盤岩や舞鶴城公園の散策などを行いました。2人は都会ではあまりみることのできない酒蔵の様子など興味深げに見学していました。



↑亀萬酒造を見学し、質問する留学生